

15 名古屋ガイドウェイバス株式会社

令和7年7月1日現在

設立年月日	平成6年4月1日	代表者氏名	代表取締役社長 舟橋 洋一				
所在地	名古屋市守山区龍泉寺二丁目301番地			電話番号	052-758-5620		
ホームページアドレス	https://www.guideway.co.jp/						
資本金・基本金	3,000,000千円	市出資・出捐金	1,900,000千円 (63.3%)				
所管部局	住宅都市局都市計画部交通事業推進課			電話番号	052-972-2791		
設立目的	志段味ヒューマン・サイエンス・タウンの建設が進められている志段味地区と都心を結ぶ交通需要に対応するため、名古屋市東北部の交通結節点である大曾根から小幡緑地間の交通混雑の著しい区間を「ガイドウェイバス志段味線」として高架で整備し、効率的で質の高い交通体系の形成に寄与することを目的とする。						
主な事業	事業名	令和6年度 営業収益	事業の概要				
	運輸事業	734,632千円	ガイドウェイバスシステム志段味線軌道区間に おける旅客輸送				
役職員数	常勤					非常勤	
	役員数	3人	(うち市派遣)	0人	(うち市OB)	3人	5人
	職員数	23人	(うち市派遣)	2人	(うち市OB)	6人	10人
常勤役員平均報酬 (市派遣職員を除く)	5,792千円	正規職員平均給与 (市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)	5,151千円	正規職員 平均年齢 (市派遣職員除く)	50.5歳		
	令和4年度		令和5年度	令和6年度			
市からの財政支出	委託料	53,852千円	72,993千円	57,387千円			
	内 隨意契約金額	(53,852千円)	(72,993千円)	(57,387千円)			
	補助金	120,225千円	232,260千円	841,432千円			
	指定管理料	0千円	0千円	0千円			
貸付金 (年度末残高)	18億円	18億円	18億円				
損益計算書 (正味財産増減計算書)	経常収益	628,029千円	687,192千円	749,690千円			
	経常費用	826,181千円	808,062千円	886,071千円			
	経常利益(損失)	▲ 198,153千円	▲ 120,870千円	▲ 136,381千円			
	当期利益(損失)	▲ 126,019千円	▲ 85,346千円	▲ 22,429千円			
貸借対照表	総資産	892,192千円	1,021,590千円	1,410,799千円			
	内 流動資産	(360,986千円)	(373,409千円)	(963,396千円)			
	内 固定資産等	(531,206千円)	(648,181千円)	(447,403千円)			
	総負債	2,047,519千円	2,262,263千円	2,673,901千円			
	内 流動負債	(1,029,570千円)	(1,241,388千円)	(1,654,458千円)			
	内 固定負債等	(1,017,949千円)	(1,020,874千円)	(1,019,443千円)			
	純資産(正味財産)	▲ 1,155,327千円	▲ 1,240,673千円	▲ 1,263,102千円			

経営に関する指標（共通指標）

15 名古屋ガイドウェイバス株式会社

○法人の自立性	令和5年度		令和6年度	対前年度増減
市からの収入割合 〔 $\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}}$ 〕	10.6%	7.7%		▲2.9%
市との随意契約比率 〔 $\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}}$ 〕	100.0%	100.0%		0.0%
市職員の役員就任割合 〔 $\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}}$ 〕		40.0%	50.0%	対前年増減 10.0%
固有職員比率 〔 $\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}}$ 〕	18.2%	17.4%		▲0.8%
○組織運営の効率性	令和5年度		令和6年度	対前年度増減
販売・管理費比率 〔 $\frac{\text{販売・管理費}}{\text{経常収益}}$ 〕	11.1%	10.2%		▲0.9%
○財務の健全性	令和5年度		令和6年度	対前年度増減
自己資本比率 〔 $\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}}$ 〕	▲121.4%	▲89.5%		31.9%
流動比率 〔 $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$ 〕	30.1%	58.2%		28.1%
固定長期適合率 〔 $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$ 〕	—	—		—
借入金依存度 〔 $\frac{\text{借入金+社債}}{\text{純資産}}$ 〕	174.9%	126.7%		▲48.2%
剰余金(欠損金) 〔 $\frac{\text{純資産(正味財産)}}{-\text{基本金・資本金}}$ 〕	▲ 4,240,673千円	▲ 4,263,102千円		▲ 22,429千円

○ 経営戦略計画 (R5～R7) の概要

経営戦略方針			
① 施設・設備機器の経年的な劣化に対処するため、計画的な維持管理・更新を行うとともに、輸送の安全確保を最優先として、ガイドウェイバスシステムの特性である安全性、高速性、定時性、快適性を活かした輸送サービスの提供に努めます。 ② 名古屋市北東部の基幹的な公共交通機関として、市の施策や沿線施設等との積極的な連携に取り組み、地域の魅力発信や活性化に寄与します。 ③ 安定した収益の確保と経費の節減に努め、効果的・効率的な事業運営を行うことにより、経営基盤の強化を図ります。 ④ 次期システムの導入が円滑に進むよう、財務構造の改善を図るとともに、事業スキームの具体的な検討に取り組みます。 ⑤ 安定的で質の高いサービスの提供を支える人材の確保・育成に努めます。			

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	6目標値	6実績値
安全・安心・安定輸送の確保	安全で安定した輸送の確保事故件数(件/年)	年間事故件数 0件	年間事故件数 0件
沿線施設・団体等との連携による沿線の活性化に向けた取組の推進	イベント等を通じたPRの実施	イベント参加者数 延べ 800人以上(毎年度)	ウォーキング等(主催・共催) 2,077名
収益性の向上等による経営基盤の強化	利用人員の増加(人/日)	11,700人	11,669人
	経常損益(千円)	黒字基調への回復	赤字(経常利益 ▲136,380千円)
	附帯事業等収入(千円)	対前年度以上	対前年度比 ▲0.3% (R6年度実績: 16,250千円)
次期システム導入に向けた対応	事業スキーム	事業計画(案)の作成	検討・調整
	経営再建計画	手法の決定	検討・調整
安定的な人材の確保と育成による人材力・現場力の強化	人材力・現場力の強化	社員と経営幹部との意見交換の実施	意見交換会を実施